

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第32号 2011年1月

八千代市環境保全課環境政策室長 進 英二

「ほたるの里づくり事業」を願みて

私たちを取り巻く自然界は、太陽の光や空気、水、土壌等から構成されており、そこに、生き物が加わり、それぞれがお互いに影響し合い、大きなつながりによってバランスを保ち、「生態系」を形成しています。

いま、この「生態系」のバランスが、私たち人間活動によって崩れつつあります。地球上に存在する生物は、分かっているだけで約175万種、未だ発見されていないものも含めると3000万種にも及び、1975年以降は世界中で1年間に4万種の生き物が絶滅しているといわれています。現在、このスピードがさらに増幅されています。

市では、市内に残された貴重な自然環境を将来にわたって保全・再生していくことを目的に、次のような理念のもと、平成4年から「ほたるの里づくり事業」を始めました。

◆ホタルのすみやすい環境は人にとっても住みやすい環境を合言葉に◆

ホタルを通して、自然の仕組みを理解すると共に、自然を大切にする人の輪を広げ、自然環境を保全していく意識の醸成を図っていく。

◆水辺の環境を守り、改善するための指標、象徴として◆

あえて飼育の難しいゲンジボタルを放す計画を立てました。

◆ほーほーほたる来い 乳清水はあーまいぞ◆

八千代市第3次総合計画後期基本計画の「印旛放水路(新川)・桑納川水辺空間整備計画」に位置付けられ、「水に親しめる川づくり」の一環として、米本地先の湧き水「乳清水」を利用することにしました。

顧みれば、「ほたるの里づくり事業」も現在まで、19年間が経過し、この間、試行錯誤を繰り返しながら、かつ、「期待」と「楽しみ」を持ちながら、進めてまいりました。^



平成5年度からは基礎的な知識を得るための先進地視察を手始めに、ホタルの餌となるカワナナの飼育、6年度は里の基礎調査や基本設計に着手し、7年度から9年度にかけては、環境整備工事を完成させました。

また、10年度には、市民、事業者、行政が協働して環境改善を進めていくという当時、全国でも数少なかったグラウンドワーク方式を採用し、「八千代市ほたるの里づくり実行委員会」を発足させました。実行委員会の地道な活動が実を結び、12年度にはホタルの観賞会「ナイトウォッチング」を開催できるまでになりました。

14年10月には「ホタルサミット in 八千代」、15年4月の会報「ほたるの里だより」の発行、17年10月には「ほたるの里写真展」の開催、さらには、18年に「ほたるの里親制度」を始めると市民への啓発活動に力を入れるなど事業の展開を図ってまいりました。



また、21年度には千葉県生物多様性モデル事業補助金を受け、ヘイケボタル・ニホンアカガエル・ジャコウアゲハの保全を行うなど、「ほたるの里」を生き物の里、生物多様性の場所として、継続して発展させております。

本事業が、このように継続・発展させて来られたのも、「八千代市ほたるの里づくり実行委員会」はじめ、ホタルメイト、市民、事業者の皆様のご理解、ご協力があったからこそと考えております。

今後は、これまでの成果を踏まえた上で、さらに一層、ほたるの発生数の増加はもとより、環境学習の拠点としての整備を図るなど、さらなる取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

生物多様性モデル事業

桑波田 和子

谷津の湧水地点での生物調査及びヘイケボタルの保全・再生事業

ほたるの里では、平成22年度の生物多様性モデル事業として、生物調査やほたるの里の実験水路づくり、湿地の整備などの活動を行いました。

谷津の湧水地点を主にした生物調査では、ヘイケボタルやオニヤンマ、ニホンアカガエル等の生息が新たに確認され、うれしい限りでした。このことは、市内の谷津の生物調査が十分行き届いていないこともわかりました。また、谷津や里山の生物の豊かさや湧水の重要性を実感し、この環境を次世代へ残していきたいと強く思いました。

ほたるの里では、昨年度から湿地をホタルやニホンアカガエルが住みやすい環境づくりを試行錯誤しながら取り組んでいます。アシの根を抜く作業がなかなか進まないため、常に刈り取ることを心がけ、湿地を田んぼの状態にしていきたいと活動しています。

湿地や水路、トンボ池には相変わらず、アメリカザリガニが多く住み、ザリガニ釣り大会等も行いました。それでも、まだまだ多くいます。



(湿地のアシ刈り作業)

このような中で22年度の取り組みの一つに、実験水路作りがあります。8月から始めた作業は、幅1.8m、長さ約5mの水路のザリガニの駆除と外部からの侵入を防ぐためのメッシュの仕切り板や、メッシュのハウスを作りました。また、太陽の光をさえぎるためのナラの木を植えました。春になれば水路と周りに水草を植える予定です。

この、水路作りには、ホタルメイトの力をたくさんいただきました。ほたるの里での月1回の作業

では進まないため、月に2～3回活動に協力していただきました。時には小さなホタルメイトのザリガニ釣りの手伝いもあり、楽しく笑顔の絶えない作業風景でした。実験水路も、意見を出し合いながら、その時点での最善策を話し合い進めてきました。里だよりで以前紹介した、「習志野市のほたる野」を参考に八千代の里らしい実験水路作りに取り組んでいます。



(実験水路のハウス設置作業)

作業に関わったメンバーは、今年の夏にホタルが飛ぶことを想像しながらも、ホタルが住みやすい環境づくりを地道に活動していきたいと願っています。

また、里を訪れる人に生き物の大切さを気付いてほしいと、ヘイケボタルやニホンアカガエルの看板も設置しました。里の作業の最中にニホンアカガエルやモズのはやにえ等も発見し、ますます生物の豊かなほたるの里づくりを目指す気持ちを強めたモデル事業となりました。



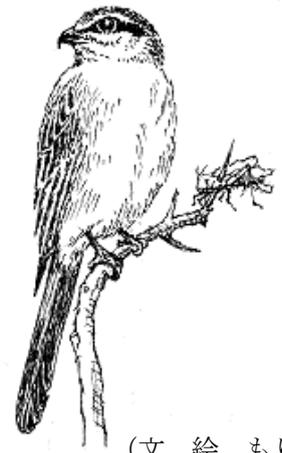
(冬眠前? まるまるとしたアカガエル)

～きっずコーナー～

ほたるの里は 冬げしき。 ホタルの幼虫 水のそこ。
ザリガニも魚も 水のそこ。

小枝にバッタが ささってる。 モズがわすれて いったかな。
モズがつくった はやにえは、あとでたべようと くるのかな。

草も魚も虫たちも、春がくるのを まっている。
いきものみんな あたたかい 春がくるのを まっている。



(文 絵 もり)

八千代市民活動サポートセンター祭の報告

赤間 洋明

11月23日(祝)、第7回やちよ市民活動サポートセンター祭り「こんにちは“わ”！ふれあいまつり」がイオン八千代緑が丘ショッピングセンターで開催されました。天候にも恵まれ、ほたるの里づくり実行委員会のブースにも多くの人たちに立ち寄っていただきました。

ほたるの里に対する関心の程度はまだまだです。スタンプラリーは人々をブースに引き寄せるには有効ですが、スタンプを押してもらうことだけに関心がある人も多く、ほたるの里に関心を持ってもらうことはなかなか難しいことです。

ブースには、ほたるの里づくり実行委員会の活動内容の紹介や里の生き物の写真、谷津里山の食物連鎖図などを展示しました。そして小さな子供たちには擬似魚釣りを楽しんでもらいました。また、サポートセンター祭りで毎年行われているスタンプラリーにも参加しました。スタンプラリーのカードを持ってブースを訪れる人々を中心にホタルやほたるの里にどの程度関心を持っているか今年もアンケートを実施しました。アンケート133名の結果は、「ホタルを見たことがある」と答えた人が70%を超えるのに対し、「ほたるの里へ行ったことがある」と答えた人とは36%でした。↑

それには「ほたるの里へ行けばホタルがたくさん見られる」といえるようにすることです。また、ホタルのシーズンだけでなく、四季折々豊かな生き物や植物をもっと楽しめる場にしたいたいです。

いま、ほたるの里は改良中です。改良の効果がでてくれば里の知名度も上がると思います。その時を目指してみんなで頑張りましょう。

(ポスターコンクールで八千代市ほたるの里づくり実行委員会のポスターが2位になりました)



人もホタルも輝く街へ！！ 私たちはほたるの里を応援しています！

- ✿ 石井食品株式会社
- ✿ ガールスカウト千葉県第57団
- ✿ クボタ環境サービス株式会社
- ✿ 子どもネット八千代
- ✿ 齊藤鑿泉管工
- ✿ 八千代オイコス
- ✿ 八千代ホタルフォーラム
- ✿ 米本団地自治会



1・2・3月のスケジュール

◇ 里の環境整備 ◇

ほたるの里の3月の作業は、野鳥観察とゴミ拾いを予定しています。冬の里はたくさんの鳥が観察できます。参加をお願いします。

日時：3月5日（土）午前9時半から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

注意：各自で双眼鏡・軍手・長靴・汚れてもよい服装・飲み物等のご用意をお願いします。保険代50円、当日受付可。

お問い合わせ・お申し込み／環境保全課 環境政策室
TEL 047-483-1151（内）3215

やちよ里山シンポジウム2011を開催します

日時：3月26日（土）13:30～16:45

場所：八千代台文化センター多目的ホール

主催：八千代市 環境保全課 環境政策室

★基調講演 「里山保全と生物多様性」

吉田 正人氏（筑波大学大学院准教授）

★活動発表

・「ちば谷津田再生会記念病院」ってどんな病院？

手塚 幸夫氏

（夷隅郡市自然を守る会事務局長）

・八千代市谷津・里山保全計画について

・ちば里山センターについて

金親 博榮氏

（NPO法人ちば里山センター理事長）

参加費／無料 募集人数／150名

主催／八千代市環境保全課環境政策室

※参加希望の方は3月1日（火）～3月16日（水）

までに、八千代市環境保全課環境政策室へ

問合せ・お申し込み／

環境保全課環境政策室

047-483-1151（代表）（内線3215）

第14回総会のお知らせ

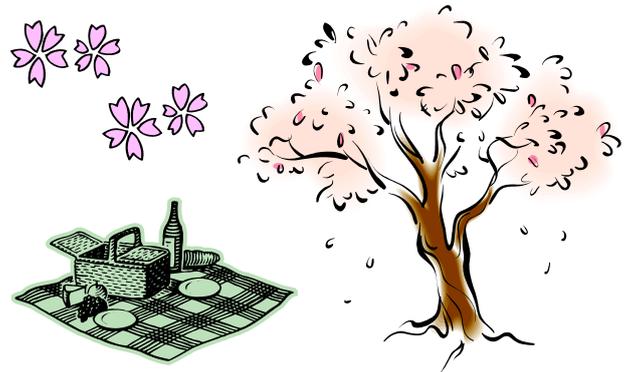


日時：4月9日（土）10:00～12:00

場所：八千代市郷土博物館学習室

平成22年度の活動及び会計報告、23年度の活動予定について話し合います。

※総会の後に村上緑地公園で自然観察をして、昼食を取ります。お弁当・水筒・レジャーシート等をお持ち下さい。



平成22年度会費未納の方は、市環境保全課窓口、里の整備時、郵便振替等でお支払い下さい。

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時で受け付けている他、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円
窓口：120円
払込先：八千代市ほたるの里づくり
実行委員会
口座番号：00150-7-670156

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局